

農業

事例1

山梨県

【平成 20～22 年度指定】

参加高校：山梨県立北杜高等学校

山梨県立農林高等学校

山梨県立山梨園芸高等学校

山梨県立笛吹高等学校

実施機関：山梨県教育委員会

財団法人山梨県農業振興公社

デュアルシステム実習や 共同研究で進路意欲の向上



■ 目 標

- 地域産業界の技術・技能の継承と地域産業界を担う専門的職業人を育成する。
- 本県農業教育の活性化を図る。
- 研究成果を県内専門高等学校へ普及する。

■ 特 徴

- 生徒の現場実習、技術者による授業実践、教職員の研修、共同研究の4つの取組に関連性を持たせたプログラム
- 取組の過程で、PDCAサイクル型問題解決能力と地域産業界を担う実践的技術を有する人材の育成を重視
- 農業系高校と農業大学校の相互の教育交流事業を母体として事業を系統的に展開
- 山梨で暮らし、山梨で働き、専門教育で学んだことが活かせる人間＝専門高校生としてのブランドの確立が1つのテーマ

注目したい取組

現場実習と共同研究

■ 内 容

〔生徒の現場実習〕

各学科の専門と関係の深い農家・森林組合・企業、農業大学校と連携した農家研修、現場実習、デュアルシステムによる長期間実習

〔共同研究〕

地元の菓子メーカーと共同で県産果樹を使った商品開発・レシピの作成、農家と連携した栽培技術の開発、森林総合研究所と共同で「高山植物保護と活用」の研究

■ 成 果

企業等実習プログラム「働く意欲や情熱が高まった」	参加生徒の 84%
企業等実習プログラム・技術者による実践的指導・共同研究 「地域企業で働くことへの興味・関心度」	参加生徒の 92%

声

【就職や進学への意識高揚・専門知識の習得】

●デュアルシステム実習は生徒の専門企業への就職や進学への意識高揚、専門知識の習得に役立つ。対応能力など職場でなければできない経験を20回の研修で体感できている。（企業）

【特産品の開発・製造することの大切さ】

●自分たちで焼き菓子の特産品を開発しようと決め、自分たちの技術が未熟でなかなか上手に製造できなかったのが、企業の方の指導で驚くほど立派なお菓子ができあがった。製造の難しさや、奥深さ、そして食べていただく人たちのことを一番に考えて製造することの大切さを教えられた。自分の進路に生かしていきたい。（生徒）

問合わせ

山梨県教育委員会 高校教育課 〒400-8504 山梨県甲府市丸の内 1-6-1

TEL 055-223-1763 FAX 055-223-1768

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/koukoukyo/>

財団法人山梨県農業振興公社 〒400-0034 山梨県甲府市宝 1-21-20

TEL 055-232-2760 FAX 055-223-2117 URL <http://www.y-nk.jp>

農業

事例2 秋田県

【平成 20～22 年度指定】

参加高校：秋田県立大曲農業高等学校

秋田県立増田高等学校

実施機関：秋田県教育委員会 秋田県農林水産部

社団法人秋田県農業公社

約30日間のデュアルシステムや長期インターンシップで学習意欲・就農意識の向上



■ 目 標

集落営農組織や農業法人のリーダーとなる若い人材の育成、日本一の起業件数を誇る本県の農村女性起業家との連携による地域特産品やブランド品の共同開発、アグリビジネス起業家の育成などについて具体的な取組を行うことにより、農業高校と地域産業界が連携し、地域の農業を担う専門的職業人を育成する。

■ 特 徴

- 農業後継者不足の中で次代を担う強いリーダーとなる人材を育成する「農業法人リーダー人材育成事業」
- 地域特有の特産品化、商品のブランド化に関する起業家との共同研究
- 将来の起業家につながる人材の育成を目指す「アグリビジネス起業家育成事業」

■ 内 容

【デュアルシステムによる長期実習（約30日間）の実施形態】

大曲農業高校は各専門科目に設定し、すべて連続実習として実施

増田高校は学校設定科目として設定し、1日4時間・週1回の長期実習として実施

【主な実習】

畜産長期研修	花き長期研修	先進農家研修（果樹）
果樹販売研修	園芸店現場実習	ニンニク商品開発研修

■ 成 果

農業関連の進路を選択した生徒増加	31人（H20） → 52 人（H22）
働く意欲や情熱が向上した	参加生徒の 89%

声

【技能・技術の基礎・基本を身に付ける】

●実際の生産設備や最新機器の操作方法を学ぶことにより、実践的な農業技能や先端技術の基礎・基本を身に付けることができた。（学校）

【職業人としての規範意識・倫理観を養成する】

●将来の農業人としての資質・能力を一層伸長することができ、職業人としての規範意識や倫理観を養うことができた。（学校）

【職業適性を把握する】

●複数の企業で実習・研修を受けることにより、自らの職業適性を確実に把握することができた。（学校）

問合わせ

秋田県教育庁高校教育課 〒010-8580 秋田県秋田市山王3丁目1番1号
 TEL 018-860-5165 FAX 018-860-5808 URL <http://www.pref.akita.lg.jp>

社団法人秋田県農業公社 〒011-0941 秋田県秋田市土崎港北2丁目17-70
 TEL 018-893-6211 FAX 018-880-6100 URL <http://www.ak-agri.or.jp/>